

広報たかす

鷹栖地区住民センター
グランドオープン

町制施行50周年記念号





CONTENTS (目次)

きら★びと 02

特集
鷹栖町町制施行50周年 04

熱夏フェスタを振り返る
町長コラム ふるさと応援大使 10

町のあゆみ50年
地域おこし協力隊活動便り 11

フィービーさんのコラム Magpie Musings!
Topics (まちのニュース) 12

Information (今月のお知らせ) 15

カレンダー、人口・世帯情報など 18



さかえ
寺田 榮さん

旭川市在住

東京芸術大学大学院修了後、彫刻家として本格的に活動を開始。これまで、中原悌二郎賞優秀賞など、数々の賞を受賞。北海道教育大学旭川校の名誉教授を務め、町内のアトリエで制作活動に打ち込む。福岡県出身。

9

2019 No.816



——水の表情を作品で表現 視覚と触覚で感じられるのが彫刻の魅力

今回は、町内のアトリエで制作活動に打ち込まれており、鷹栖地区住民センター「ふらっと」の「つながる庭」に力強くたたくむモニュメント「石走る(いはばしる)」の作者である寺田さんに、作品や制作活動にかける思いを伺いました。

寺田さんが彫刻家を目指したきっかけは、幼少期のこと。現代ほど遊ぶものやおもちゃが抱負ではない時代、両親が懸命に木を削り、手作りのおもちゃを与えてくれた、そのような時代を過ごしたといえます。「親の背中を見て育ってきたので、自分も幼いころからのづくりに興味がありました」と話してくれました。

高校では美術部に入部。絵画などではなく、実際に木や石を削る、ものづくりに興味を抱いていた寺田さんは、見よう見まねで作品づくりを始めました。「顧問の先生は彫刻の専門ではありませんでしたが、いろいろと指導してくださいました」と寺田さ

ん。その後は、東京芸術大学、大学院へと進学し、彫刻専攻の課程を修了されました。

その後、「風景と彫刻との調和」をテーマとした作品の制作を続けた寺田さんは、平成7年に、北海道教育大学旭川校で教鞭を執るため、旭川市に移り住みました。移住によって、作品のテーマにも変化が。

「これまでは、置く場所によって映し出す風景が異なる作品にするため、石を鏡面になるまで磨き上げることが多かったのですが、北海道に来てからは自然な水の流れや表情をテーマにしたものが多くなりました」とのこと。また、制作されている作品は、一貫したテーマに沿ったシリーズのものが多く、今回「ふらっと」に設置された作品も、小ささまざまな作品から成る「石走る(いはばしる)」シリーズのひとつ。平成16年に「第21回現代日本彫刻展」に出展するため、10カ月ほどの期間を費や

作品づくりの最中に、ふと頭に浮かんだ万葉集の『石走いはばしる垂水たるみの上のさわらびの萌え出ずる春になりけるかも』という作品から着想を得ました。以降、『言葉』と『作品』をつなぎ合わせて意味を持たせる作品を多く制作しています。

「彫刻の良さは、視覚だけではなく、触覚でも楽しめること」と話す寺田さん。母なるオサラツペ川を連想させ、その豊かさや偉大さを、永きに渡り後世へと伝えつないでくれる作品が、「つながる庭」で静かに鷹栖のあゆみを見守ります。



▲鷹栖地区住民センターの「石走る(いはばしる)」

特集

鷹栖町町制施行50周年

町町制施行50周年記念式典及び
地区住民センターグランドオープン式典



令和初となる町民の日（8月8日）に、鷹栖町町制施行50周年記念式典および鷹栖地区住民センターグランドオープン式典が行われ、町内外からお招きした167名の来場者とともに、鷹栖町の50年目の記念すべき日を迎えました。

鷹栖町の開拓に尽力されたすべての先人へ黙とうと献花が捧げられた後、次世代を担う子どもたちを代表して、鷹栖中学校生徒会の生徒5名が、町民憲章を朗読しました。

また、町制50周年を記念して新たに設置された「鷹栖町ふるさと応援大使」に、鷹栖町と縁のある3名が就任。HTBアナウンサーとして活躍されている谷口直樹さんにご挨拶いただいたほか、中江早希さんと荻田泰永さんからは、ビデオメッセージをいただき、会場で上映しました。

今号は町制施行50周年記念号として、本町では初となる全ページカラーでお届けします。

（写真 鷹栖中学校生徒会による町民憲章の朗読）

式典で朗読された町民憲章は、私たちが先人の偉業を受けつぎ、明るく住みよい郷土をつくるため、昭和47年1月1日に制定されました。

憲章の理念を町民の皆さんとともに共有し、住んでよかったと実感できる「まちづくり」を進める決意を新たにすため、ここで全文をご紹介します。

鷹栖町民憲章

自然を育て、きれいな町をつくりましょう

家庭を愛し、住みよい町をつくりましょう

きまりを守り、明るい町をつくりましょう

生産を高め、豊かな町をつくりましょう

文化を育て、うるおいのある町をつくりましょう

式典の追憶

グランドオープンを祝う

昨年11月に新しい鷹栖地区住民センターがプレオープン。正面駐車場の整備を経て、グランドオープンを迎えました。式典では、つながる庭のモニュメントについて、制作者の寺田榮氏から解説をいただき、「くす玉」で盛大に祝しました。



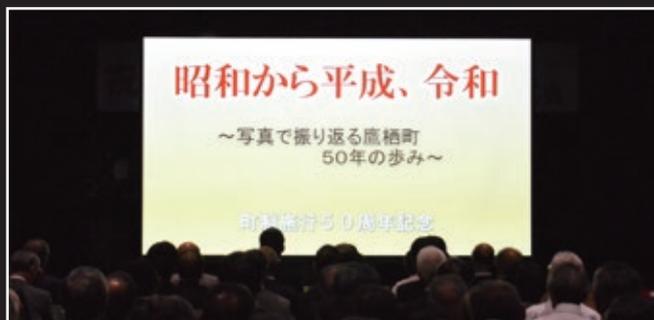
歴史を振り返る

展示コーナーでは、町制施行50周年記念「鷹栖の歴史写真展」を開催。今から50年前の町制施行記念式典の様子や学校の歴史、農業などの今と昔を比較する展示を実施しました。



50周年記念スライドショー

町制50周年を記念して、鷹栖町の50年を写真で振り返る映像を作成し、会場で上映しました。上映作品は、鷹栖町公式Youtubeチャンネルで公開しています。



Youtubeチャンネル
QRコード

鷹栖町は、先人たちの思いのバトンを受けつぎ、この先の50年に向けて、町民の笑顔とともに歩み続けます。

鷹栖町町制施行50周年 記念講演会

「ないものはない～離島からの挑戦」

8月8日午前の「記念式典」に引き続き、午後からは「町制50周年記念講演会」を開催。講師に、イターンの若者の活躍や隠岐島前高校の魅力化プロジェクトが全国的に知られる、島根県海士町の大江和彦町長を招けました。ここでは、町内外から約150人が参加した講演会の内容を抜粋してご紹介します。

挑戦に挑戦を 重ねて奮闘

海士町は地方創生のトッランナー、成功事例だとよくおっしゃいますけども、私たちは町の中にと、とても成功とは思っていない。挑戦に挑戦を重ねている、挑戦真つただ中と言っている、と思います。ちょっと、辛い辛い、しんどいかなと言っている、休もうかなと思つた瞬間に、昔に後戻りしてしまふ。休むことができない、前に進むしかないということ。毎日奮闘しております。

「離島からの挑戦」。これは全国的に平成の市町村合併の嵐が吹き上げたとき、私たちは、合併をせずに単独町政でいくんだという気概を持って、それには挑戦あるの

み、という職員的一致団結のもと、まちづくりを進めてきました。

生き残りをかけた 守りと攻め

単独町政を決断した平成15年の12月に合併協議会を解散しました。このとき、自分たちの島は自ら守り、島の未来を自ら築こうではないかという、住民の代表50人の方々に集まっていたら、合併を拒否した。県からも応援をいただけない中で自分たちで切り開いていこう、こういう意識合わせをした。その時初めて、自治の原点というものを感じ取ったような気がしております。

町づくりのキーワード、自立、挑戦、交流。その自立への

挑戦ということでは、生き残りをかけた守りと攻めの両面作戦。過去に例のない行財政改革を大胆に実行、守りを固める一方、攻めの方策として短期的に新たな産業をおこしていく。つまり産業をおこせば新たな雇用が創出できる。そういうことを、強力で推進しました。

付加価値を高める ブランド化を徹底

生き残るための攻めの戦略として、産業振興を行っていく。その産業振興策は、島まるごとブランド化といい、

島の資源をまるごと活用して島の製品の付加価値を上げることを徹底してやろうと。私たちの島の資源を島の中で消費するのみではなく、島の外に「地産地商」と書きまして、外に出て、外部から稼ぐ。それが、島の農業や漁業所得を上げていくことにつながります。





こういう中で、私たちはいろいろな特産品の開発を行いました。「島じゃ常識」さざえカレー」。カレーの具材に肉の代わりにサザエを入れるのは日本どこ探しても、ここのではない。これを商品化しようという動きがでてきました。その後も、全国初の岩ガキの養殖、鮮度・流通のハンデを克服するための急速冷凍システムの導入など、さまざまな挑戦に取り組ましました。

若者・よそ者に活躍の場を

産業振興に貢献したのが、やはりよそからの移住者。「若者」「よそ者」「馬鹿者」が島おこしの起爆剤。この交流事業を頻繁にやったのが功を奏した結果となりました。島の地元組もなにくそ、負けるかお前らに、というような形で、いろんな異質な者同士が討論をすることによって化学反応を起こす。異質な者同士だからこそ科学反応を起こして、大きなものに変

わっていく。こういう現象が海士町で起きました。

ある若者が干しナマコの事業をやりたいと言って役場に来ました。当時の山内町長が、「町が工場を作るから、おまえ運営できるか」と言い、予算化をして計上しましたが、議会から全員に反対されました。山内町長が初めて予算で否決される場面で、来たばかりの移住者、どこの馬の骨か分からん者に、自分たちの大事な税金7千万円を投じるのはいかがなものかと。山内町長が議員さんをお願いしたのは、彼の考えに7千万円をいったん投じるように見えるかもしれないけれど、彼が輸出事業で成功したら、中国から大きな対価が島に入ってくる。結果として、地元の漁師、ナマコの漁師さんに所得の配分がある。従って、加工施設は彼だけのものではない。海士町にいる漁師全体の施設なんだ。そう思ってくれないだろうか、という説得の仕方をしたところ、会期末には全員が賛成して、この予算は通りました。

地域一体で「しゃばる」

新聞では海士町は移住者にも大きなチャンスを与えたとして、若い勇者たちは海士町に行けば自分たちも挑戦できるかもと言って、このあと多くの若者が移住するようになりました。

今まではまちづくりを何でも役場主導で進め、土日も関係なく汗をかかないと住民に信頼されない。しかし、意外と今の若者はまちづくりをやりたいがっている。次は、地元の若者と移住者がみんなで「しゃばる」まちづくりを進めたいと考えています。役場も、地域の振興に資することであれば、どんどん現場に出ていくべきで、「半官半X」のような働き方も必要と考えています。これからの価値観は、持続可能な過疎地域が海外の大国も引く張る最先端になる、そんな考えを持ってまちづくりを進めたいと思っています。官民一体・地域一体で進める挑戦に終わりはありません。

ふるさと応援大使 鷹栖に縁ある3名が就任



町制施行50周年にあたり、「鷹栖町ふるさと応援大使」を新たに設置しました。

8月8日に、各界でご活躍されており、鷹栖町に縁のある3名を委嘱しました。大使には、町の文化や自然、特産品、観光など、さまざまに分野の情報を広く全国に発信し、鷹栖のイメージ向上を図るために活動いただきます。

ここでは、皆さんの経歴とともに、就任の意気込みをご紹介します。



ソプラノ歌手 中江 早希さん

鷹栖町出身で、北海道教育大学岩見沢校を経て、東京芸術大学大学院博士課程を修了された中江さん。現在は、東京都を拠点に、国内外でソリストとして活躍されています。

これまでに、たかすメロディーホールで、町内の合唱サークルとコラボした凱旋コンサートも実施いただいています。中江さんは「生まれ育った鷹栖町の魅力を、多くの方に知っていただくお手伝いができて光栄です」と大使就任の喜びを伝えてくれました。

今後は、「音楽や食を通じたPRをできれば」と意気込みを話してくれました。



北極冒険家 荻田 泰永さん

荻田さんは「美しい景色やおいしい空気、食べ物。そして、優しい人に溢れた鷹栖町は第二のふるさとです」と思いを話してくれました。

今年の6月まで鷹栖町で暮らしていた荻田さん。20年間に16回の北極行を経験しており、平成30年1月には、新たな試みとして挑んだ南極の地で、日本人初となる南極点無補給単独徒歩到達に成功。その功績が評され、翌月には「植村直「冒険賞」を受賞されています。

今年の3月には、今の若者にも、自分と同じように人生観が変わるような体験をしてもらいたいとの思いから、若者12名を引き連れての北極冒険も成功させています。



HTBアナウンサー 谷口 直樹さん

谷口さんは鷹栖町出身で、北海道大学文学部を卒業後、平成12年にHTB北海道テレビ放送に入社。15年11月には、第2回ANNアナウンサー賞（高校野球実況部門）を受賞され、今年4月にアナウンサー歴20年目を迎えられることになった。

平成20年には、母校の鷹栖小学校で児童に対し、アナウンサーの仕事について講演するなど、故郷を大切にいただいています。

勤務地が札幌市ということもあり、鷹栖に帰省する機会も多いという谷口さん。今後の活動に注目です。

■人形劇フェスティバル

「たかす人形劇フェスティバル」(実行委主催)は、7月28日(日)に鷹栖地区住民センターで実施。町内外から200名を超える来場者が訪れました。第1部では町内の子どもら24名が人形作りから公演までを手づくり。第3部では、町制施行50周年記念として、人形劇団えりっこの公演が行われました。



■絵手紙体験教室

8月24日(土)に、北野地区住民センターで「絵手紙体験教室」(北野絵手紙サークル主催)が行われ、参加者24名が絵

手紙の世界に触れました。講師の伊藤長治さんは「色はたっぷり付けて、思い切つて描いて」とアドバイス。参加者は、野菜や果物などの被写体を、思い思いの線と色使いで表現していました。



■地域居酒屋

8月31日(土)に、ぬくもりの家えん内のふれあい茶ろんてくで、一品100円で集い楽しめる「地域居酒屋」(たかすおせつ会・あつたかす北野サロン運営委員会主催)が行われました。

■その他の事業

8月8日(木)開催
(ホッカイドウ競馬 門別)
鷹栖町町制50周年記念特別

町制施行50周年関連事業

町主催の催しのほか、町民の皆さんが主体となって50周年を祝う取り組みが数多く実施されています。ここでは、8月末までに行われた50周年記念の冠事業と、今後実施する冠事業をご紹介します。



おかあさんといっしょ宅配便「ガラピコぷく小劇場」を実施します。ガラピコぷくの仲間たちが繰り広げる楽しいステージショーを観望希望の方は、次の要領でお申し込みください。

▼日時

10月20日(日)

①午前11時～午後0時10分

(開場午前10時30分)

②午後1時30分～2時40分

(開場午後1時)

▼主催

鷹栖町、NHK旭川放送局

会場 たかすメロディーホール

出演 ガラピコぷくの仲間

たち、うたのお姉さん

※「おかあさんといっしょ」

に出演しているお姉さんで

はありません

(番組収録もなし)

▼内容

第一部 キャラクターとう

たのお姉さんによるステージ

第二部 キャラクターと子

どもたちとの記念撮影(カメラ

は各自でご用意ください)

▼観覧申込

入場無料ですが、事前に申込みが必要です。NHK旭川放送局ホームページ専用フォームからお申込みください。



申込フォーム

▼その他

ご応募いただいた情報は、抽選結果のご連絡のほか、NHKでは受信料のお願いなどに使用させていただくことがあります。

▼問合せ

「ガラピコぷく小劇場」
24時間音声テープ案内

☎ 24-7017

鷹栖の短い夏を彩る たかす熱夏フェスタ2019

8月3日・4日に、たかすメモ
デーホール周辺特設会場で行
われた「たかす熱夏フェスタ2
019」。町制施行50周年の今
回は、ゲストとして、音楽活動
やテレビ出演などマルチに活動

を展開する上杉周大さんと、演
歌歌手の伍代夏子さん、大江
裕さんをお招きし、会場は大満
員に。祭りを楽しもうと、2日
間で延べ1万2千人もの来場
者でにぎわいました。



あつたかす発 北の大地から

ふるさと応援大使

町制施行50周年記念式典を
8月8日に挙行し、多くの来賓、
町民の方々のご臨席のもと、先
人への感謝と未来への確かな歩
みを誓い合った。

式典では、町で初めての取り
組みである「ふるさと応援大
使」となるHTBアナウンサー・
谷口直樹さん、北極冒険家・荻
田泰永さん、オペラ歌手・中江早
希さんの3名も紹介させていた
だいた。当日、超多忙なテレビ局
勤務の谷口さんから就任あいさ
つをいただいたことは、心から嬉
しく、「二番鷹栖に帰ってくる回
数の多い応援大使であり、いた
だいた900枚のPR用名刺を

早くたくさんの方に配り、町の
ために役に立ちたい」とユーモア
も交え、スピーチしてくれた瞬
間、会場は自慢の息子を温かな
眼差しで愛でるような大きな拍
手に包まれた。

鷹栖町長 谷 寿男

荻田さんと中江さんは、スケ
ジュールの都合がつかず、ビデオ
レターでの紹介となったが、翌週
にはコンサートを終え、帰省した
中江さんも役場にいらして「私
の得意の音楽を生かして、ふる
さと鷹栖を盛り上げたい」と、
瞳を輝かせてくれた。

地方自治体は「若い人たちが
地元に残らないで、高齢化が進
む」と嘆くことも多いが、ふるさ
と鷹栖を胸に他市町で活躍して
いる方々は町の誇りであり、鷹栖
町のまちづくりに共感して移住
されたり、応援していただけた
りする方たちが多くいることは
心強い限りだ。

令和元年の節目の現在、町の
歴史と先達を大切にして、「自
分たちのことは、自分で考え、
行動する」自治の原点を忘れ
ず、新たなステージへと飛躍
したい。

町のあゆみ50年

今年は何制施行50周年

このコーナーでは、鷹栖町が歩んだ歴史を振り返ります。

開拓の碑

今回は、役場庁舎裏手、親水公園の一角に佇む開拓の碑をご紹介します。

開拓の碑は、昭和48年8月8日に、鷹栖町開基80年記念事業の一環として、開拓に尽くされた先人に対する感謝の心を込め、さらに次代を担う私たちが先人の築いた郷土を守り、育てていく使命を認識するねらいで建立されました。

碑文の「開拓之碑」の文字は、当時の町長である小林勝彦氏により記され、そのほかに、昭和47年に制定

※今日では、明治以前の土地の営みとの連続性を重視するために、「開基」という言葉を「開拓」に置き換える自治体も増えています

された「町民憲章」と、チカプニ（近文）原野に鷹栖村が築かれるまでの経緯が記された「開拓の由来」が刻み込まれています。

毎年、町民の日である8月8日には、開拓の碑の前で献花し祈りを捧げる「開拓感謝の集い」を挙行していますが、今年は、町民の日に鷹栖地区住民センターで行われた町制施行50周年記念式典内で、ステージ上に開拓の碑を投映。名誉町民である浅井基典さんや、次世代を担う鷹栖中学校生徒会の生徒らによって、献花が行われました。



時には、開拓の碑の前で、郷土を築かれた先人に対し思いをはせてみてはいかがでしょうか。

地域おこし協力隊活動便り

みんな笑顔であつたかすな町

鷹栖町へぜひお越しください！



移住定住促進	および				
空き家の活用	業務				
原	涼太	さん	(26)		

移住定住の促進に寄与したい

8月1日から、移住定住促進や空き家の利活用に関する業務を担当する地域おこし協力隊として、原さんが採用されました。

札幌市出身の原さんは、地元の大学を卒業後、東京で3年半保険代理店などに勤務。鷹栖町が地域おこし協力隊を募集していることを知り、「北海道の良さを全国に伝えるため、移住定住に関する仕事がしたい」と考えていた原さんは、採用試験に応募しました。

「外の人に『鷹栖に住みたい』と思ってもらうためにも、まずは観光で立ち寄ってもらいたい。そのために、観光分野の久保田さんや、パレットヒルズの管理やイベント運営を担当している菅野さんなど、他の協力隊の方たちとも連携を図りながら、どうすれば人を呼び込めるかを考えていきたいです」と意気込む原さん。地元北海道への愛を胸に、原さんの活動が始まりました。

マグパイ ミュージング
Magpie Musings!
 ~マグパイの想い~



マグパイは、オーストラリアに生息する鳥の一種。フィービーさんもお気に入り。



外国語指導助手
フィービーさん

Hello、鷹栖町!

私の兄がオーストラリアから遊びに来てくれたので、7月末から8月にかけてとても楽しい日が続きました!一週間と短い期間でしたが、会えるのが久しぶりでとてもうれしかったです。

旭岳ロープウェイに乗り、登山をしました。登り始めた時は天気が良く、山頂からの眺めは雲一つなく素敵だろう!と思いましたが、2時間後、頂上に辿り着いてみたら見事に雲で真っ白。山の天気は気まぐれですね。

他にも、富良野のラベンダーを見に行ったり、近くのおいしい食べ物を楽しんだり、雨の日は一緒に家でゲームをしたりもしました(笑)

鷹栖町に来てから色々な新しいことを経験させてもらっています。その一つが熱夏フェスタでのお神輿です!お神輿は思ったよりずっと重く、担ぎ手となるのは大変でした。数日経ってもずっと左肩が痛かったです…。これからは、お神輿のあるお祭りを見るたびに、参加者の大変さを知って見られます。日本文化への理解が一つ深まったかな。

別の初体験は、ラフティング。海洋クラブ員の子もたちと一緒にラフティングにもってこいの暑さの中、南富良野町で素敵な夏の思い出を作ることができました。

前回のクイズ、貧しい人にはあって(つまり何も“無い”)、お金持ちには必要で(必要な物は“無い”)、食べると死んでしまう(食べる物が“無い”)もの。答えは「無(nothing)」でした。

今月号のなぞなぞは:What can you put in a cup but never take out? 「コップに入れることができるのに、取り出せないものは何?」。

答えは来月号で!

Topics まちのニュース

8月11日・14日

パレットヒルズでキャンプフェス2019が開催され、100名を超える方が自然を満喫しました。

地域おこし協力隊の菅野協力隊員が中心となり企画・運営。参加者は、ビアガーデンや、見晴らしの良い展望スペースでのモーニングコーヒー、星空観測など、思い思いに真夏の余韻を楽しんでいました。



夏のパレットヒルズを満喫

8月22日

町産食材おいしいね

鷹栖高校において農業体験事業の収穫祭が行われ、同校3年生と鷹栖小学校の1・2年生が参加。同校の畑で生徒と児童が協働して育てたジャガイモやトマトなど約20種類の野菜を収穫しました。

この日は、収穫した野菜を材料と一緒に調理した夏野菜カレーライスとピザを、会話を楽しみながら味わっていました。



8 22 介護の基礎を学ぶ

鷹栖地区住民センターにおいて、講師にさつき会ケアマネジャーの佐々木恵子氏と、理学療法士の矢敏之氏を迎え、「介護に関する入門的研修」を開催し、15名が参加しました。

ケアマネジャーからの講義では、介護の相談窓口や介護保険制度の概要をやさしく説明。理学療法士からの講義では、寝たきりを防ぐための介護のコツや、楽に介護をする方法について実技を交えて説明を受けました。参加者は、自分や家族、地域のためなどと参加したきっかけはさまざまでしたが、真剣なまなざしで講義を受けていました。



8 17 24時間マラソンソフトボール大会



町民グラウンドで今年で37回目となる「24時間マラソンソフトボール大会」が行われました。選抜チームを含む全24チームが「オオカミの桃」と「ゆめびりか」の2チームに分かれて対戦。今年の「24時間選手」には、それぞれ木島卓哉さんと岩佐卓さんが選出されました。24時間の激闘は、オオカミの桃チームが220対213という、大接戦で制しました。

8 27 松浦市での交流を振り返る

8月6日～11日の期間、国内交流事業の一環として、長崎県松浦市で現地児童と交流をした、町内小学校に通う6名の友好訪問団が来庁。谷町長と宝田教育長へ、松浦市で経験したことや、思い出を報告しました。

鷹栖小5年の木谷光さんは「長崎の小学校では平和学習があることを知りました。原爆のことなどを学べてよかったです」と話してくれました。

1月には、松浦市の児童が来町し、ホームステイ体験や雪国ならではの活動を通じ交流します。



8 28 東京大学の学生が鷹栖町での体験を成果発表



8月23日～29日の期間、中山間地域での生活を実際に体験し、地域での交流を通じて理解を深めることを目的に東京大学の学生4名が来町しました。滞在期間中、農業体験や町内事業所の見学、中学生との意見交換など、さまざまな活動を実施しました。

8月28日には、鷹栖町をPRする効果的な手法を企画・立案し、町長へ発表。主な内容として、人口減少という課題を克服するために①定住者の満足度向上②町の知名度向上③移住者支援を柱に、具体的な取組みなどをまとめました。

8 25 叙事詩鷹栖プロジェクト

鷹栖地区住民センター「ふらっと」で、鷹栖町で青春時代を過ごした詩人山田亮太さん(東京都在住)による「叙事詩鷹栖プロジェクト」が実施され、40名ほどの参加者が詩の世界に親しみました。

同プロジェクトは、参加者から募った言葉を山田氏が持ち帰りつなぎ合わせ、ひとつの作品「叙事詩鷹栖」を作り上げるというもの。参加者は4~5人ずつのグループに分かれ、『夢』や『好きなところ』といった10個のテーマに沿って一人ずつ話し、聴いているメンバーは話の中で気になった言葉を書き起こしました。

山田さんの手によってどのような詩が生み出されるのか、目が離せません。



★ 町民の活躍!

高校総体カヌー競技で5位に

北成地区出身の照井咲頼さん(南富良野高3年)が、8月3日・4日に鹿児島県伊佐市で開催された全国高等学校総合体育大会の女子カヤックシングル



500m競技で、第5位に入賞。昨年の準決勝敗退の結果をはねのけ、見事上位入賞を果たしました。

照井さんは「優勝を目指して日々練習に打ち込んでいたので、とても悔しいですが、同時に自身の成長を感じられた大会。茨城国体では、クロカンで培った心肺機能で優勝を目指したいです」と話してくれました。

北海道マスターズ陸上競技大会で2冠達成

鷹栖地区在住の館山幸男さんが、8月4日に札幌市で行われた北海道マスターズ陸上競技大会の70~74歳の部の100mと60m競技で1位に輝きました。



館山さんは、陸上競技のほかにも野球や卓球など、さまざまな競技に打ち込まれており「野球でのダッシュが短距離走に生かされている」と話してくれました。マスターズ陸上は生涯に渡り同世代と競い合える競技。館山さんの挑戦は続きます。

日本女子ソフトボールリーグ1部(第7節)



「第52回日本女子ソフトボールリーグ1部(第7節)」北海道旭川大会が開催されます。

この大会に、ホンダ女子ソフトボールチーム「Honda ^{ホンダ}Reverta ^{リベルタ}」が3年ぶりに旭川にやってきます。

来年は、東京オリンピックが開幕し、この試合に出場した選手がオリンピックで活躍するかもしれません。ぜひご来場いただき、リーグ優勝を目指す彼女たちに、熱いご声援をお願いします!

▼試合日程

9月21日(土)13:00 トヨタ自動車 vs Honda Reverta
9月22日(日)10:30 伊予銀行 vs Honda Reverta

▼試合会場

旭川ドリームスタジアム
(旭川市東光25・26条8丁目)

▼入場について

町内にお住まいで観戦をご希望の方は、事前に役場1階窓口で無料引換券を受け取り、ドリームスタジアム会場のHondaブースでチケットと交換してください。(9月20日まで)

▼問合せ

(株)本田技術研究所鷹栖プルービンググラウンド
☎87-4322



自殺対策基本法では、9月10日から16日までを「自殺予防週間」と定め、国や地方公共団体、関係団体などとも連携して「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向け、相談事業および啓発活動を実施します。

鷹栖町では「こころの健康に関する困りごとを抱える方」を対象に、臨床心理士による健康相談を行っています(年8回、事前予約)。

また、上川保健所では精神科医師による健康相談を実施しています(月1回、事前予約)。どちらも無料です。希望の方は、町の保健師へご連絡ください。

自殺予防週間
9月10日～16日
健康福祉課保健推進係



旭川がん検診センター無料バス
健康福祉課保健推進係

旭川がん検診センター(旭川市末広東2条6丁目)での検診の受診を予定している方、検診を希望している方で交通手段がなくお困りの方に次の日程で、鷹栖町内からバスの送迎を無料で行います。

利用を希望される場合は、健康福祉課保健推進係へお申込みください。

また、対象となる方へは9月中旬頃に案内を発送しますのでご確認ください。

▼送迎バス運行日

- ・鷹栖、北斗、中央、北成地区 10月17日(木)
- ・北野地区 11月18日(月)

※検診はおおむね午前中に終了する予定です。詳しい時間やバスの乗降場所はお申込み後にご案内します。



年金生活者支援給付金制度がはじまります
町民課医療年金係

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するため、年金に上乘せして支給されるものです。受け取りには請求書の提出が必要です。

▼請求手続き

- ・平成31年4月1日以前から年金を受給している方

対象となる方には、日本年金機構(年金事務所)から請求手続きのご案内が9月上旬から順次届きます。同封のハガキ(年金生活者支援給付金請求書)を記入し投函してください。

- ・平成31年4月2日以降に年金を受給しはじめた方

年金の請求手続きと併せて役場お客さま窓口または年金事務所でご請求手続きをしてください。

▼問合せ

『給付金専用ダイヤル』
0570-0514092

鷹栖地区住民センター 展示コーナーについて
教育課生涯学習係 ☎87-2028

8月は、町制施行50周年記念展示と、町内の絵画サークル「のぎくの会」40周年記念展第1弾「浅井基典作品展」を開催しました。

9月は、姉妹都市であるオーストラリア・ゴールドコーストへの友好訪問団の報告展を開催します。
【今月のスケジュール】
9月3日～29日 ゴールドコースト友好訪問団報告展
10月2日～11月10日 のぎくの会40周年記念展第2弾

生ごみ堆肥の販売を行います
町民課住民生活係 ☎87-2111

皆さんに分別のご協力いただいている、生ごみでできた堆肥の販売を行います。

▼価格
1袋(13kg) 200円

▼日にち
9月13日(金)
午前中は鷹栖地区、午後は北野地区で販売します。堆肥の在庫がなくなり次第、販売終了です。

▼その他
世帯全員が70歳以上の場合は、出張販売に合わせ自宅まで堆肥をお届けします。詳しくは広報折込チラシをご覧ください。



工事のお知らせ

建設水道課土木係 ☎87-2111

- ▼工事場所 北1条4号道路(北1条2丁目)
 - ▼工事期間 令和元年9月～令和元年12月20日
 - ▼工事内容 歩道拡幅工事
 - ▼交通規制 〈昼〉車両通行止め 〈夜〉全面開放
- 工事期間中、皆さんにはご迷惑をお掛けいたしますがご協力をよろしくをお願いします。



第15回鷹栖町郵便局長杯パークゴルフ大会参加者募集

教育課体育振興係 ☎87-2028

- ▼日時 9月28日(土)
- 受付 午前7時15分～40分
- 開会式 午前7時45分
- ▼場所 北野軽スポーツ公園パークゴルフ場
- ▼参加料 協会員 500円
一般町民 700円
- ※コース使用料100円(別途)
- ▼参加資格 鷹栖町民・鷹栖町PG協会会員・町PG協会加盟団体に登録している町外者
- ▼入賞 男子・女子ともにフライト制で上位入賞者、ホールインワン賞(指定ホールのみ)、飛び賞など
- ▼申込締切 9月18日(水)

相談

各種相談会の
お知らせ

健康福祉課地域福祉係

かみかわ生活あしんせ

ンター生活・仕事相談

▼日時

令和元年9月19日(木)

①午前9時30分～10時20分

②午前10時30分～11時20分

生活や仕事などでお困りの方全般の相談に応じます。開催日曜日15時までには電話、FAXなどで予約してください。

☎38-8800

FAX33-0021

●きたのまち就労相談会

▼日時

令和元年9月19日(木)

午後2時～4時

「障がいと雇用について」「子どもの将来の仕事」など(予約不要)

いずれも相談料は無料です。気になる点は、お問合せください。

▼問合せ

鷹栖町生活福祉相談センター(サンホールはびねす内) ☎87-2112



ヘルプマークを知っていますか？

～援助や配慮が必要な方のためのマークです～

▼マークの目的は？

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)の趣旨を踏まえ、外見からは配慮を必要とされていることがわかりにくい方の意思表示を支援するため、市町村と北海道が連携してヘルプマークの活用を推進し、町民(道民)による障がいのある方などへの合理的な配慮が的確に行えるような環境整備を図ることを目的としています。

▼もしヘルプマークを見かけたら…

・バスの中や待合場所などでは席をお譲りください。外見では健康に見えても疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが大変な方がいます。
・障がいなどにより状況を理解することが難しい方や、自力での避難が難しい方がいます。災害時など、安全に避難するための支援のご協力をお願いします。

◀このマークがヘルプマークです。



【マーク配付・問合せ先】
健康福祉課地域福祉係
(サンホールはびねす内)
☎87-2112



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう たかすのアイドル

— 今月、満1歳になる子どもを紹介します



こうき
佐藤 煌軌 くん

男の子★誠・祐佳さんの子

抱っこが大好きで甘え上手! 皆に可愛いがられ大きくなりました!

平成30年9月3日生まれ

「敬老の日」特別企画!



フィットネス倶楽部コレカラ
無料体験&健康測定会

健康福祉課健康長寿係 ☎87-2112

- ▼日程 9月16日(月)
- ▼参加 40歳以上の町民の方
- ▼内容
 - ①サーキット運動
午前9時～正午、午後2時10分～4時30分
 - ②レッドコード教室(30分間)
午前10時15分、午前11時
午後2時30分、午後3時15分(全4回)
 - ③あったかすリハビリ体操教室 午後1時～2時
 - ④健康測定会(筋肉量・認知機能)
午前9時～正午
- ▼鷹栖地区から無料バス運行
行き:午前10時10分 はびねす前発車
帰り:午前11時50分 フィットネス前発車
※乗車を希望する方は、9月14日までに健康福祉課健康長寿係までご連絡ください。

秋の交通安全運動

9月21日(土)～30日(月)

町民課住民生活係 ☎87-2111

次のことを重点事項とし、運動に取り組みます。

- 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- ▼街灯啓発運動
9月20日(金)午前7時30分～
9線4号交差点付近
- ▼パトライト作戦
9月30日(月)午後6時～ 町内3カ所



鷹栖町食材が札幌で楽しめます!

ホテルポールスター札幌において、今年で3年目を迎える鷹栖町物産展が開催されます。

物産展では新米の町産ななつぼしを中心に、トマトジュース「オオカミの桃」や毎年人気商品の豆乳プリン、鷹栖産米の米粉シフォンケーキなど10種類以上の農産物・加工品の販売を予定しています。

また、物産展を開催する2日間に同ホテル1階のレストランでは鷹栖牛や山恵のエゾ鹿肉、町内産の新鮮

野菜、新米などを使ったメニューが提供されます。さらに、2日目の11日は、オホーツクの海産物などが特産品の雄武町とのコラボ物産展も開催されます。ぜひ、足を運んで札幌の地で鷹栖町と雄武町の味覚をお楽しみください。



- ▼期 間 10月10日(木)～11日(金)
午前11時～午後6時30分
- ▼場 所 ポールスター札幌
(札幌市中央区北4条西6丁目)
- ▼問合せ 産業振興課農業振興係

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
	はびねすバス利用者への町営バス無料利用日 はびねすバス利用者無料送迎バス運行日(A・B)				9/6	7 ●朝市てくてく ●北海道カレーサミット2019 ●秋の大収穫祭
8 ●尾木直樹氏教育講演会	9 ●デコぼん茶屋(はびねす)	10 ●老人会送迎日(親交・長寿)	11 ●鷹栖高校体育祭 ●ななかまど大学 ●女性サロンスクール	12 	13	14 ●朝市てくてく ●長生き感謝祭 ●森であそぼう
15 ●鷹栖中学校学校祭	16 	17 ●老人会送迎日(北成)	18 ●第3回議会定例会(~20日まで) ●乳幼児健診 ●デコぼん茶屋(北野サロン) ●ブックスタート ●ななかまど大学	19 	20 ●秋の交通安全街頭啓発運動 ●女性サロンスクール特別講座	21 ●朝市てくてく
22 ●メロディーホール自主文化事業「しげちゃん一座~楽しい絵本トーク&ライブショー~」	23 	24	25 ●女性サロンスクール ●令和2年度就学予定児健康診断	26 ●まちづくりセミナー	27 ●北の絵手紙交流展(~30日)	28 ●朝市てくてく
29 ●パレットヒルズ植樹祭	30 ●デコぼん茶屋(はびねす)	10/1	2	3 ●こころの健康相談※	4	5 ●朝市てくてく

広報たかす

9

NO.816
令和元年
9月号

創刊 / 1949年(昭和24年)
発行日 / 2019年(令和元年)
9月5日

11月20日

発行者 / 鷹栖町 編集 / 総務企画課
北海道 上川郡 鷹栖町 南1条3丁目5番1号

【8月25日現在】人口と世帯数

人	□	6,836人 (-8)
男		3,245人 (-7)
女		3,591人 (-1)
世帯数		3,065戸 (-1)

()内は前月比

8月中救急出動状況		
急病		26件 (22人)
一般負傷		8件 (8人)
交通		2件 (3人)
その他		3件 (2人)
月合計		39件 (35人)
2019年累計		330件 (310人)

※8/1~8/25 ()内は搬送人員

8月8日に「はいよいよ鷹栖地区住民センター「ふらっと」がグランドオープンしました。その名のとおり平屋建てで段差のないフラットな空間は、あえて木のぬくもりを感じられる作りとなっています。新たなまちの交流拠点に「ふらっと」お立ち寄りください。

(祐)

編集後記

~ 窓口から ~

こんにちは、よろしくね

氏名 両親

11区 舟根 羽麗ちゃん 純貴さん・見枝さん

あたたかい心
ありがとうございました

○社会福祉協議会へ
☆香典返しご寄付

・尾山 登さん ・内藤 米子さん
・藤原 文信さん ・稲村 幸子さん

☆社会福祉事業として

・(有)助安農場

おくりあげます

氏名	年齢
3区 尾山 ナツ子さん	86歳
北野東 藤田 愛子さん	96歳
北野西 金子 利二郎さん	88歳
シブエー 藤田 直美さん	47歳
シブエー 田辺 隆さん	69歳
鷹栖北 遠藤 昭比古さん	84歳
第23区 内藤 ひでさん	97歳
向日葵 藤原 ヤスヨさん	97歳
大成 原 直さん	84歳
北門 稲村 誠さん	73歳

次号は10月7日(月)発行です

◀表紙▶鷹栖地区住民センターグランドオープンセレモニー